

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成29年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
29-2	対流型地域圏における自動走行システム普及に向けた新たな道路ストック評価手法	東京大学 教授 原田 昇	A
<p><研究の概要></p> <p>中山間地域の人流・物流ネットワークへの自動走行システムの導入・普及を目指し、道の駅を拠点とする自動運転サービスの実用化を目指した実証実験を通じて、自動運転に対応した道路インフラと地域の小さな拠点となり得る道の駅が有すべき機能を明確化し、自動走行対応型道路ネットワーク整備計画の立案と、ストック評価のためのデータプラットフォーム及び自動走行対応型道路の路線計画評価モデルの開発を行う。</p> <p><中間評価></p> <p>自動運転の実証実験と連携した調査や評価プラットフォームの構築等の研究成果をあげており、今後の研究の見通しにおいても成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究対象とする各地域の位置づけの整理を示した上で、全てに汎用する手法を作るのか、特化したものとするのかを確認することが望ましい。 2. 研究成果が中山間地域における自動走行システムの導入・普及にどのように繋がるのかを示すことが望ましい。 3. プラットフォームの構築にあたっては、可能な限り多くのデータの共有の仕組みの実現を目指すことが望ましい。 			

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。